

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【公開番号】特開 2019-87664 (P2019-87664A)

【公開日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報 2019-021

【出願番号】特願 2017-215580 (P2017-215580)

【国際特許分類】

H 0 1 F 1/147 (2006.01)

C 2 2 C 38/00 (2006.01)

H 0 1 F 1/20 (2006.01)

H 0 1 F 1/22 (2006.01)

H 0 1 F 1/33 (2006.01)

H 0 1 F 1/34 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

B 2 2 F 3/00 (2006.01)

B 2 2 F 3/24 (2006.01)

B 2 2 F 9/20 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 F 1/147

C 2 2 C 38/00 3 0 3 S

H 0 1 F 1/20

H 0 1 F 1/22

H 0 1 F 1/33

H 0 1 F 1/34 1 4 0

B 2 2 F 1/00 Y

B 2 2 F 3/00 E

B 2 2 F 3/00 F

B 2 2 F 3/24 B

B 2 2 F 9/20 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 26 日 (2020.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 8 9 】

また、この磁性材料粉体を磁性材料の局所的な T i 含有量及び不均化の存在や度合を知るのに適している F E - S E M / E D X 法によって、ある粉末粒子（粉末粒子 1）を観察した（倍率は 1 万倍とした。）。その結果、図 2 に示したように、本磁性材料の各相における T i の含有量（図の数値は、各相における T i 含有量で、各相の T i、C o と F e の総和に対する T i の原子比の値を百分率で表したものである）は、0.15 原子%以上 0.45 原子%以下と大きく不均化して分布していることがわかった。なお、図 1（B）には、一つの b c c - (F M , T i) 相と見られる領域の中にも 10 nm オーダーの間隔で湾曲した曲線状の無数の結晶境界が観察された。よって、b c c - (F M , T i) 相の領域の中にも、T i 含有量で区別できる相、例えば、T i 含有量が 0.15 原子%の b c c - (F M , T i) 相に対して T i 含有量が、その相よりも 1.5 倍以上 10.5 倍以下の範

囲内の 3 . 2 倍である 0 . 4 5 原子 % の b c c - (F M , T i) 相が存在していること、
即ち、b c c - (F M , T i) 相に関して、第 1 相以外に第 2 相に相当する相も存在して
いることが、この結果からも明らかになった。